

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安寿

目標達成計画書

作成日: 平成 26年 07月 07日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に32回開催し、ホームの定例会議になっているが、マンネリ化しないためにも、会議の方法や議題について、斬新で建設的な意見が出できるように、会議の前に職員間で話し合い、運営推進会議がホーム運営の柱になるように取り組む。	参加者を定期的に増員し、有識者、知見者、複数の民生委員等から募り、ホーム運営に反映し、参加委員も、会議に参加することで知識を磨き、有意義な経験ができ、会議に参加することで楽しみに繋がるように努力していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	定期的に消防署の協力を得て、避難訓練を実施しているが、2階の9名の利用者を夜勤者1人で安全に避難誘導するための、非番の職員との連携や地域住民に、避難場所での見守りのお願い等、検討していく。	日常的に地域住民と交流を図り、非常災害時に、相互協力出来る体制と、敷地内事業所職員との、緊急時の協力体制をマニュアル化して、非常災害に備えて万全の体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。